

◆ 確認問題 ◆

→p.56

- 1 (1) せまい (2) 銘柄米
(3) 近郊農業 (4) 促成栽培
(5) 抑制栽培 (6) 畜産 (7) 低い
- 2 (1) 3分の2 (2) 排他的経済水域
(3) 養殖漁業 (4) 栽培漁業
- 3 (1) 太平洋ベルト (2) 加工貿易
(3) 貿易摩擦 (4) 産業の空洞化
(5) 中京 (6) 北関東
- 4 (1) 一 (2) 二 (3) 三 (4) 商業
(5) ショッピングセンター
(6) インターネット

◆ ビジュアルチェック ◆

→p.57

- 1 A 米 B 野菜 C 畜産
- 2 カナダ
- 3 A 米 B 小麦
- 4 A オーストラリア B 中国
- 5 A 石油化学 B IC工場〔集積回路工場〕
- 6 A 農業 B 製造業 C サービス業

◆ 練習問題 ◆

→p.58 ~ p.59

- 1 (1) イ (2) ①D ②A ③B ④C
(3) 近郊農業
- 2 (1) ①(例) せまく ②兼業
(2) 就業人口(例) 就業人口が半分以下に減っている。 年齢(例) 就業人口にしめる高齢者の割合が高くなっている。
(3) ア
- 3 (1) エ
(2) ①イ
②(例) 世界各国が排他的経済水域を設定し、漁獲量が制限されたから。
- 4 ① 加工 ② 貿易摩擦 ③ 空洞
- 5 (1) A 阪神工業地帯 B 中京工業地帯
C 京浜工業地帯
(2) イ (3) カ
(4) D 瀬戸内工業地域 E 北陸工業地域
(5) 太平洋ベルト 理由(例) 海に面し、原料の輸入や製品の輸出に便利だから。

- 6 (1) Aウ Cイ (2) イ (3) 4785

解説

- 1 (1) 青森、長野、岩手といった東日本の冷涼な地域が上位3位なので、イのりんごと判断できる。
(2) ①は畜産の割合が高いのでDの鹿児島県。②は米の割合が高いので、水田単作地帯の多いAの富山県。③は果実の割合が高いのでみかんやかき、うめの栽培がさかんなBの和歌山県。④は野菜の割合が高いので促成栽培がさかんなCの高知県。
- 2 (1) 日本がせまい耕地に人手や肥料をかけて高い収穫をあげる集約的農業を行うのに対し、アメリカ合衆国では広い耕地で大型機械を使い、少ない人手で栽培する大農法が多い。そのため、国産の農産物は、外国産に比べて高くなる。
(2) 就業人口…「大幅に減っている」ということが書けていればよい。必ずしも「半分以下」と書かなくてもよい。年齢…「高齢者の割合が高くなっている」ということが書けていればよい。就業人口も65歳以上が減っているが、就業人口にしめる65歳以上の割合は約33%から約69%へと上がっているので、そのことを読み取って書く。
- 3 (2)① 日本の漁獲量が年々減少する一方、魚介類の輸入量は増加したが、近年は減少傾向。
② 理由を答えるので、文末は「～から。」「～ため。」などとする。「排他的経済水域が設定された」ということと、その結果、「漁獲量が制限された」ということの2点が書いてあればよい。1970年代後半から、世界各国が資源保護のために200海里の排他的経済水域を設け、域内の外国漁船の操業を規制した。その影響で、日本の遠洋漁業の漁獲量は大きく減少した。
- 5 (3) 機械工業の割合が7割近くあるカがBの中京工業地帯。キがC、クがAである。
(5) 理由を答えるので、文末は「～から。」「～ため。」などとする。「海に面している」ということと、「原料の輸入や製品の輸出に便利である」ということの2点が書いてあればよい。
- 6 (1) 年間商品販売額が最も多いイがCの東京都。観光業がさかんなAの北海道は、ホテルの施設数に着目し、イの次に多いウを選ぶ。アはBの岩手県、エはDの宮崎県。
(2) ウの北海道の施設数が最も多く、イの東京都やエの宮崎県の数に極端に少ないことから、イのスキー場であると判断できる。